

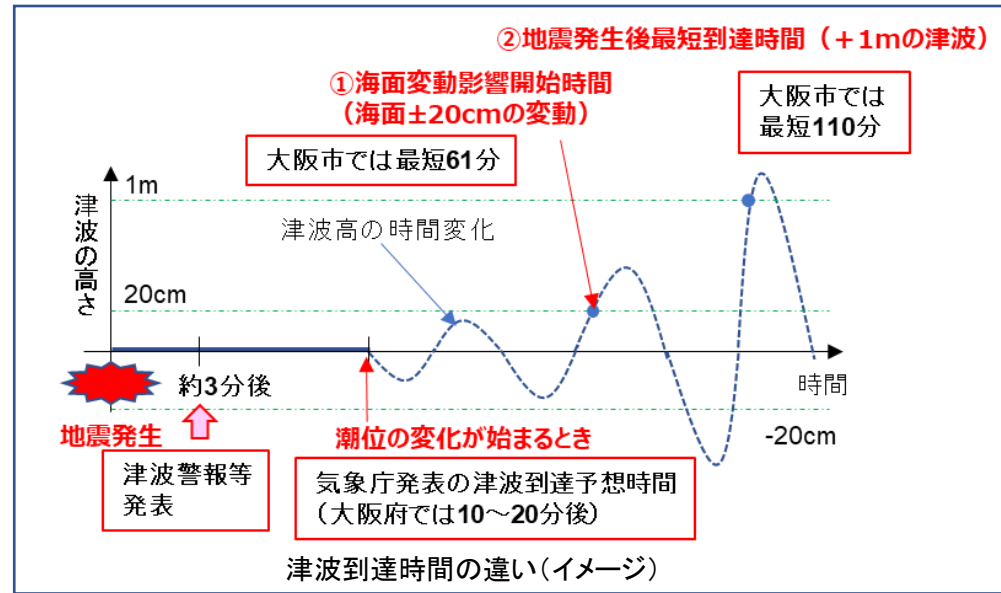
南海トラフ巨大地震による津波到達予想時間について（補足）

- 市町村のハザードマップの基礎データとなっている大阪府津波浸水想定では、津波到達の目安とするため、20cmと1mの津波が到達する時間を市区町別に公表しています。
- 一方、気象庁では実際に津波が起きる見込みのある地震が発生すると、津波到達予想時間が発表されます。
- 市町村のハザードマップには、大阪府津波浸水想定「1mの津波高さに達する時間」が記載されていることが多いですが、気象庁が発表する津波到達予想時間は「潮位の変化が始まる時間」であるため、津波到達時間の考え方が異なります。**

◆大阪府津波浸水想定(H25.8)の津波到達時間

- ①海面変動影響開始時間(海面±20cmの変動)
岬町26分、堺市55分(最短)、大阪市61分(最短) 等
- ②地震発生後最短到達時間(+1mの津波)
岬町54分、堺市101分(最短)、大阪市110分(最短) 等

◆気象庁の情報発表（南海トラフ地震での想定例）



津波到達時間はあくまでシミュレーションによる想定であるため、想定より早く津波が到達することもあります。地震発生後、津波警報等が発令されれば、すぐに高台へ避難してください。